

天野先生の思いで

梶田 行雄

私は天野先生とは2度と一緒に仕事をさせていただく機会に恵まれた。一度は、総合政策学部長としての天野先生。いま一度は、学校法人関西学院の理事・評議員をお務めいただいた折の天野先生である。

学部長としての天野先生と一緒にさせていただいた期間は、1995年4月に総合政策学部が開設し、翌年の6月に私が入試部に異動するまでの1年2ヶ月である。このように書けば、ごく、短いように思われるが、実は、天野先生との関係は1992年の6月まで遡ることになる。私が知る限りで、関西学院として、当時神戸大学に在籍しておられた天野先生に最初にご挨拶をさせていただいたのは、1992年4月に当時の柘植学長と遠藤副学長が面会をされた折であったろう。その後、総合政策学部開設準備委員会メンバーとの初顔合わせは1992年6月の委員会であった。そして、天野先生は1992年の7月の理事会で学部長予定者として招聘することが正式決定されている。

総合政策学部の開設に向けて、学部長予定者であった天野先生とは、実に、多くの会議で多くの時間を共にさせていただいた。そして、1995年4月に総合政策学部は開設され、天野先生は正式に初代学部長に就任された。学部運営を巡っての天野先生のお考えは明快であった。教員には教育研究に多くの時間を割いてもらい、会議の時間は短くして、教授会もシンプルに行うというものであった。学部運営は主に学部長を中心とした執行部が担い、教授会では教育研究に係る本質的な議論が中心となった。議事録や諸連絡はペーパーレスで電子メールで行うこととした。多くの外国人教員が在籍したが、教授会の公用語は日本語と定め、

記録は事務局が日本語でとることとした。それ以外にも、教授会は禁煙とする・・・などなど。学部運営は天野先生のお考えに従って進められた。

天野先生は、と一緒に仕事をさせていただく事務の立場からは、誠にありがたい先生であった。少し例を挙げれば、天野先生ご自身のスケジュール管理の完璧ぶりがあった。天野先生はご自身でスケジュール管理をされ、変更や追加があると、都度、スケジュール表をプリントアウトして事務局に渡してくださった。また、天野先生のお原稿執筆の早さは驚異的であった。私大連盟を始め、色々な原稿執筆をお願いさせていただいたが、お願いした翌日か翌々日には「はいこれ」と言って原稿を頂戴することができた。私のそれまでの知る範囲の先生方は、原稿を依頼してもなかなか出て来ない、締め切りを過ぎてはまだ出てこない・・・、と言ったことが常であったので大助かりであった。天野先生の頭の中はきっと几帳面に多くのことが引き出しに入っていたのであろう。残念ながら私は1年2ヶ月で神戸三田キャンパスを離れることになったが、上ヶ原勤務となった後も、顔を見る度にお声掛けをいただき、気に掛けていただいたことに感謝している。

次に天野先生と一緒に仕事をさせていただいたのは、天野先生が学校法人関西学院の理事・評議員をお務めいただいた折である。私は上ヶ原に異動となった後、入試部、秘書室、法人部で勤務をした。入試部時代にも入試委員会で目に掛かっていたが、秘書室、法人部では理事・評議員としての天野先生と一緒にさせていただいた。評議員としては2001年4月から、理事としては2006年4月からお務めいただいた。理事会や評議員会での天野先生の存在は大きなものがあった。常に「学者」としての視点をお持ちになり、学院経営上の事項であっても、教育研究上の事項であっても、天野先生のご発言は大変示唆に富むものであり、他の委員の方々へも大きな影響力をお持ちであった。

取りわけ、学院運営上のことにあっては、常に「改革」の視点をお持ちになっておられ、ややもすれば、保守的な傾向がある学校運営にあって、常に高い見地からのご発言が多くあった。

個人的な思い出として、天野先生の無類の「音楽好き」がある。天野先生はクラシック音楽をとっても愛され、西宮北口の「芸術文化センター」でもお見かけすることがあった。天野先生のお宅には何度かお伺いさせていただいた。最初にお伺いしたのは、総合政策学部開設以前に遠藤先生とご一緒であったが、病を得られた後の近年はお見舞いであった。お宅にお邪魔させていただくと、驚くほどの数のクラシックのレコードやCDが並べてあった。もう、天野先生から音楽のお話が聞けないと思うと残念である。

最後に、私は、神戸三田キャンパスに1991年の「新校地利用推進委員会」当時から関わらせていただいた。総合政策学部設置申請のために、度々、文部省(文部科学省)にも足を運んだ。無事に申請を終えた時の安堵感は今も鮮明に覚えている。総合政策学部は、1995年4月に、実に、関西学院大学としては理学部(理工学部)開設以来34年振りに8番目の学部として開設され、その後、関係者のご努力で今日のように素晴らしい学部へと発展を続けている。総合政策学部の開設にご尽力された小島先生、安保先生は既にお亡くなりになられた。この度は天野先生である。天野先生には個人的にも学校法人関西学院としても、まだまだ、ご助力いただきたいことが多くあった。それも今は叶わないと思うと大変残念である。天野先生のご冥福を心より願っている。

梶田行雄(かじた ゆきお 学校法人関西学院 常務理事)